

# 継続圃場

※ 輪作のため、対象作物が前年度と異なる場合、新規圃場のカルテ様式に記入してください。

## 圃場カルテ (葉菜/根菜類)

管理コード		土壌採取日	20 / /
対象作物名		生産団体/生産者	
		圃場名・番号	

### 1. 栽培管理における前年作との変更点 (前年作との変更点について該当するものにレ点を記入)

変更要素	作土深	排水条件	堆肥	土壌改良資材	肥料	土壌消毒	その他	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
変更理由	収量向上	生理障害の抑制	土壌病害虫の抑制	その他				
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>					

### 2. 栽培概要 (前年作との変更点について記入)

栽培形態	1 ハウス, 2 露地	品種名						
栽培期間	20 / /	-	20 / /					
排水条件	1 排水過多, 2 適切, 3 排水不良							
堆肥	1 無施用, 2 毎年施用, 3 時々施用			[2][3]の実施期間		年前から		年/1回
種類	1 牛ふん, 2 豚ふん, 3 鶏ふん			その他				
施用量		t/10a	施用日	20 / /				
土壌改良資材	1 苦土石灰, 2 石灰窒素			その他				
施用量		kg/10a	施用日	20 / /				
肥料	1 全面全層施用, 2 畝内施用			N-P-K (%)	日付/施用量(kg/10a)			
基肥	肥料名				%	20 / /		kg/10a
追肥	肥料名				%	20 / /		kg/10a
追肥	肥料名				%	20 / /		kg/10a
土壌消毒	1 なし, 2 あり		薬剤名			太陽熱消毒の有無		
			その他			実施月	20 /	

### 3. 本年作の収量、品質等の結果 (「前年作との比較」は該当するものの番号を左端の欄に記入)

↓ 前年作との比較	1 改善, 2 同等程度, 3 悪化						
収量	地域(または生産組織)の平均との比較(平均を100とした場合) 1 80未満, 2 80~100, 3 100, 4 100~120, 5 120以上					実測値	t/10a
生育状況	1 旺盛すぎる, 2 適切, 3 劣る						
可販品率	1 ほぼ100%, 2 90%以上, 3 80%以上, 4 80%未満						
生理障害	1 なし, 2 葉の異常, 3 根の異常			症状、障害名			
土壌病害虫	1 なし, 2 根こぶ病(アブラ科), 3 立枯病, 4 萎凋病, 5 軟腐病, 6 萎黄病, 7 根腐病, 8 そうか病, 9 ネコブセンチュウ, 10 ネグサレセンチュウ, 11 ジャガイモシストセンチュウ, 12 ホウレンソウケナガコナダニ					その他	

### 4. 特に重点を置いた改善対策とその結果の感想 (または収量・品質に特に影響した要因)

# 継続圃場

※ 輪作のため、対象作物が前年度と異なる場合、新規圃場のカルテ様式に記入してください。

## 圃場カルテ (葉菜/根菜類)

管理コード	1 2 3 4 5 6 7 8	生産団体/生産者	0000	土壌採取日	20 21 / 10 / 25
対象作物名	ホウレンソウ	圃場名・番号	00-1		

### 1. 栽培管理における前年作との変更点 (前年作との変更点について該当するものにレ点を記入)

変更要素	作土深	排水条件	堆肥	土壌改良資材	肥料	土壌消毒	その他
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
変更理由	収量向上	生理障害の抑制	土壌病害虫の抑制	その他			
	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>				

### 2. 栽培概要 (前年作との変更点について記入)

栽培形態	1 ハウス, 2 露地	品種名					
栽培期間	20 / / - 20 / /						
排水条件	1 排水過多, 2 適切, 3 排水不良						
堆肥	1 無施用, 2 毎年施用, 3 時々施用	1	[2][3]の実施期間		年前から		年/1回
種類	1 牛ふん, 2 豚ふん, 3 鶏ふん	3	その他				
施用量	0 t/10a	施用日	20 / /				
土壌改良資材	1 苦土石灰, 2 石灰窒素	1	その他				
施用量	0 kg/10a	施用日	20 / /				
肥料	1 全面全層施用, 2 畝内施用		N-P-K (%)	日付/施用量(kg/10a)			
基肥	肥料名					20 / /	kg/10a
追肥	肥料名					20 / /	kg/10a
追肥	肥料名					20 / /	kg/10a
土壌消毒	1 なし, 2 あり	薬剤名			太陽熱消毒の有無		
		その他			実施月	20 /	

### 3. 本年作の収量、品質等の結果 (「前年作との比較」は該当するものの番号を左端の欄に記入)

↓ 前年作との比較	1 改善, 2 同等程度, 3 悪化				
1	収量	地域(または生産組織)の平均との比較(平均を100とした場合) 1 80未満, 2 80~100, 3 100, 4 100~120, 5 120以上	4	実測値	1.1 t/10a
2	生育状況	1 旺盛すぎる, 2 適切, 3 劣る	2		
1	可販品率	1 ほぼ100%, 2 90%以上, 3 80%以上, 4 80%未満	3		
1	生理障害	1 なし, 2 葉の異常, 3 根の異常	2	症状、障害名	葉脈間の黄緑色斑の発生
2	土壌病害虫	1 なし, 2 根こぶ病(アブラ科), 3 立枯病, 4 萎凋病, 5 軟腐病, 6 萎黄病, 7 根腐病, 8 そうか病, 9 ネコブセンチュウ, 10 ネグサレセンチュウ, 11 ジャガイモシストセンチュウ, 12 ホウレンソウケナガコナダニ	1	その他	

### 4. 特に重点を置いた改善対策とその結果の感想 (または収量・品質に特に影響した要因)

鶏ふん堆肥と苦土石灰を無施用としたところ、葉の黄緑色斑の発生が少なくなった。